

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	東松原保育園
活動日時	令和 7 年12 月5 日 (金)
クラス名(年齢)	ひよこ組(0 歳児)

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

自然物を使ったマラカスをつくって遊ぼう

<テーマの設定理由>

どんぐりを拾う事が好きな子どもたちなので、散歩のときにたくさん集めたものを使って、楽しく遊べるようなものを作ろうと思った。

## 2. 活動スケジュール

どんぐりを転がしたり触れてから小さなペットボトルに入れ、鳴らして遊ぶ。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

どんぐり、小さなペットボトル、ビニールテープ、電子ピアノ、箱

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

一人一人に箱に入ったどんぐりを渡す。転がしたり、感触を楽しみながらどんぐりに触れる。小さなペットボトルを渡し、どんぐりをつまんで入れ、蓋をしてから振って、音を鳴らす。

## <活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 箱から出して並べたり、転がしてどんぐりの感触や転がして音が鳴ることを楽しんでいった。自分の前の箱だけでなく、大きな箱からもとる様子が見られた。



② 大きさの違うものを見つけたり、保育士と一緒に探したりして、どんぐりを観察していた。



③ 見本を見せてから、小さなペットボトルを渡した。指先を上手に使ってつまんで入れていた。入れたものを出す作業も楽しんでいった。入れる量も個々で違う様子が見ることが出来た。入れたどんぐりの量で音の違いも感じられていた。



④ 歌を歌いながら鳴らしたり、電子ピアノを用意して、子ども達の好きな歌を歌いながら楽しく鳴らしていた。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

思っていたよりも、集中していたように感じた。散歩先でも見つけると握りしめるほどの物であったので、身近に拾ったもので楽器を作ることが楽しめていたので良かった。小さなペットボトルに入れる量も個人差があり、多い、少ないなどでの音の違いも年齢なりに感じる事が出来たので良かった。今後も、音を楽しめるように、子ども達の興味を引き出したり、リトミック的な活動を取り入れ、全身を使って動きながら音を感じることが出来る楽しい活動を行っていきたいと思う。